

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成の報告がありました。

第 20 回 自治区制度等行財政改革推進特別委員会

日 時 平成 27 年 11 月 19 日 (木)
13 時 24 分～14 時 00 分
場 所 議会第 4 委員会室

【委 員】西村委員長、小川副委員長

柳楽委員、串崎委員、野藤委員、上野委員、飛野委員、笹田委員、岡本委員
芦谷委員、道下委員、原田委員

【議 長】議長、副議長

【委員外議員】足立、森谷、渋谷

【執行部】近重副市長、植田総務部長、埜財務部長、前木総務部次長(総務課長)、
河野財務部次長(財政課長)、藤井消防次長、古森人事課長、

坂田行財政改革推進課長、西川人事係長、湯浅給与係長、道山行革推進係長

【事務局】三浦局長、鎌原書記

議 題

1. 浜田市定員適正化計画の見直しについて

2. その他

【会議録】

(開 議 13 時 24 分)

西村委員長

それでは、委員会を開会します。ただいま出席委員は 12 名で定足数に達していますので早速会議に入ります。本日は、レジュメにありますように、執行部から「浜田市定員適正化計画の見直しについて」の報告を受けたいと思います。

1. 浜田市定員適正化計画の見直しについて

西村委員長

1 番の浜田市定員適正化計画の見直しについて、執行部より説明をお願いします。人事課長。

古森人事課長

(以下、資料をもとに説明)

西村委員長

説明が終わりました。委員から質問・意見等がありますか。

原田委員

合併時に残す職員は約 7 割という話がありましたが、今の状況はどのくらいになっているかと、支所の職員を減らしてきていますが、それに対する問題点があればお願いします。概要にあります、計画の見直しの内容の中で今までは 3 分の 1 の採用でしたが年齢構成がわかれば教えてください。先ほど話があったかもしれませんが 5 分の 4 にするとどう変わるのかを教えてください。

古森人事課長

現在の支所の職員数は約 100 人です。

原田委員

それは当初の何割くらいになってますでしょうか。

植田総務部長

概要版にありますように、今年度の 4 月 1 日で 572 人の一般行政職がいます。その中で 4 支所合わせて約 100 人おりますので約 17% が支所に配置されている職員です。

古森人事課長

実際、この 4 月から 20 人体制になったばかりで、まだ評価はできていません。

植田総務部長

今までの 3 分の 1 の採用から 5 分の 4 にしたらどうなるかという質問だったと思いますが、現状については資料の職員数及び年齢構成のところのグラフを見ていただくとわかりますが、特に 30 歳までのところが全体でも 50 人くらいと少なくなっています。今後 5 分の 4 にするとどうなるかですが、浜田市については一般事務職について新卒採用は 29 歳までの採用となっていますので、現状でいう 29 歳までのところは徐々に増えていくと思います。どこの年度で増えるということは言えませんが、年齢を限定して採用していませんのでこのところは増えていくのではと思っています。昨年度、中途採用の職員を何名か雇用しております。これは 34 歳までとしております。今後も採用人数によっては中途採用も手法も取り入れながらやっていきたいと思っていますので、今後、34 歳までのところが増えていくことが予想されると思っています。高齢のところの職員は 9 月議会で可決していただきました、任期付き採用で専門的な知識をもったものを場合によっては採用していくことも考えております。人数はそんなに多くはないですが専門的なところは高

古森人事課長 いスキルをもった職員の採用を考えて行きたいと思っております。
 合併前の支所の職員が 338 人いました。合併時には 257 人の配置で、7 割で行くと 234 人ですが、7 割より少し多い人数の配置となっていました。現在では本庁一元化や業務一元化した関係で 100 人となっています。

西村委員長 ほかに委員からありますか。
 芦谷委員 考え方として U I ターンとか産業、観光振興、あるいは開府 400 年こういった市長の目玉の施策についてはどの程度人員を充てる方向でしょうか。

植田総務部長 開府 400 年については組織、機構の見直しの中で検討しています。具体的に何年度から何人配置するというのは現状では結論が出ていませんが、こういった業務を推進する必要がある場合は、組織を新しく設置し、職員を配置するということがあります。その場合には現状の職員数を上回る考えは持っていないので、どこかの部門に人数的にしわ寄せが行くのではと思っています。

芦谷委員 もう一点、本庁支所間で輻輳する業務あるいは支所独自の業務があつて、本庁支所の連携、業務再配合などの点がじゅうぶんではないと思いますがどういった所見をお持ちでしょうか。

植田総務部長 本庁支所の業務一元化については平成 25 年だったと思いますが、3 部門化体制を将来するという方向性を出して、今年 4 月から一元化を完全実施するという流れできています。基本的には支所に残す業務以外は本庁に一元化されていると認識しているが、都市建設部の業務は災害復興を進めるために技術職員をそちらに配置をしたりして、じゅうぶんに本庁に一元化ができてなかった部分がありますが、基本的には輻輳する業務はないものと思っています。窓口業務は輻輳しているということもありますが、住民サービスの向上の点で残していますし、特に支所については、それぞれの自治区で必要な産業部門を中心に自治区の独自性をもっていただきながら業務を推進するために人員を配置しているつもりであります。

西村委員長 ほかに委員からありますか。
 笹田委員 消防職について、採用定数のところで 9 人増えるということですが、火力発電所の関係で三隅出張所が増えるということなんですが、ここに書いてあるとおり、いきなり入って消防学校に入校しなくてはいけないということでこの年に増やしても 30 年に本当に配置ができるか疑問があるのですが。

藤井消防次長 基本的には 30 年に採用して実質的には早くも 12 月からの配置となると思います。この間は内部の中で運用しながら配置する予定にしています。

笹田委員 要するに 30 年度配置予定というのは 30 年度の最初からではなくて 12 月に支所を増やすということですか。

藤井消防次長 職員が帰って採用されてからのことになります。

笹田委員

消防職員はいきなり1年目でいろいろなことができるとは思えないんですが、やはりベテランのほうが現場も知っています。そういった意味で経験をもった方を配置される予定で考えていますか。

藤井消防次長

全員をそこに配置するという事にはならないと思います。今までの職員とのバランスを考えての配置になると思います。消防学校をですとある程度のことのできるということで、一般市民から見ますとその人が新人かベテランか分かりませんので、その辺はベテランがカバーしながらやっていくようにしたいと思います。

西村委員長

ほかに委員からありますか。ないようですので、1番の浜田市定員適正化計画の見直しについては終了いたします。

2. その他

西村委員長

2点目、その他ですが、何か皆様方からありますでしょうか。

串崎委員

せっかくの機会なので聞いてみたいことがあります。当然ひとつの組織ということで、係長があつて課長があつて部長があるということで、職員もそれを目指してがんばることのできるいい職場になると思いますが。給与のことなのですが係長から課長になったときにある程度、給料が上がって当然でしょうし、責任も増えてくると思いますが、下がるとか横ばいということがありますか、ありませんか。あつてはならないと私は感じていますが。

植田総務部長

浜田市の給与体系は基本的に職務給ということになっていますので、主任から係長に、係長から課長、課長から部長の場合は給与表の適用が変わっています。必ず上がるようになっています。管理職については、管理職手当を支給していますので、係長のときに比べて管理職になって下がるということはないです。

串崎委員

わかりました。

西村委員長

何か皆様方からありますでしょうか。

古森人事課長

今回この特別委員会で話をさせていただきましたが、次回11月30日の全員協議会で報告をさせていただきたいと思います。

西村委員長

その他ないようですので、以上で自治区制度等行財政改革推進特別委員会を終了いたします。

(閉 議 14時00分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

自治区制度等行財政改革推進特別委員会 委員長 西村 健

㊦